

夏まるかじりツアー

8月20日(月) ~ 8月22日(水)

IN 西宮市立甲山自然の家



	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	レクリエーション・工作	ナイトハイク
2日目	川遊び	川遊び・グループタイム	キャンプファイアー
3日目	清掃・野外炊飯	清掃・施設を出発・解散	

一日目： 快晴のもと、仁川に全体集合し施設まで向かいました。最初の難関は暑い中、2泊分の荷物を持って登る施設までの道のりでした。汗だくになりながらも登りきった後の昼食は格別でした。昼食後、レクリエーション大会をしました。体いっぱい動かした後、焼き板で名札を作りました。ごちない手つきでしたがみんな素敵な名札ができていました。施設でひと休みした後、夜はナイトハイクを行いました。普段夜の自然を感じる事が少ないので、あまりの暗さに怖がっていました。ゴールを目指し、たどり着いた先には甲山から見える綺麗な夜景が子ども達を待っていました。施設に戻り、「めっちゃ綺麗だった！」と感想を聞きました。いつの間にか、暗さにも慣れ、体で夜の自然を感じていました



二日目： 朝の集いでみんなが知っている「虹」を歌いました。みんな上手にギターに合わせて歌っていました。朝食後、待ちに待った川遊び。最初はグループごとに冷たい水を全身に浴びながら遊びました。暑い中、川の水は冷たくとても気持ち良さそうでした。お弁当を食べ、午後からは水鉄砲大会をしました。頭にポイをつけ、水鉄砲を持ち準備万端。グループ対抗でトーナメント戦を行いました。相手グループのポイを破くのにみんな必死で水鉄砲を撃っていました。どのグループも優勝目指し楽しんでいました。施設に戻った後は、疲れた体を休めるためグループそれぞれ過ごしました。元気なグループは公園を探索しに行ったり、研修室で数グループ混じってのレクリエーション大会をしたり、1日目には見えなかったリーダーと子ども達、子ども達同士の絆と笑顔が目に見えて深まっていました。夕食後にキャンプファイアーをしました。初めて見るファイアーダンスに感動した様子で自然と「わあ〜！」と歓声があがっていました。そしてリーダーや友達、みんなで歌って踊って元気よく、大いに盛り上がりました。キャンプファイアーの最後は「虹」を歌いました。小さくなる火と裏腹にみんなの声大きく1つで、夜空に響き渡っていました。



三日目： 楽しかったキャンプも最終日。みんなが使った施設を綺麗に掃除し、いよいよ最後のプログラム野外炊飯。重たい器材もみんなで作れば大丈夫。素早く準備をし、グループごとに「かまど係」「カレー係」「お米係」に分かれて早速カレー作りに取りかかりました。さすが2泊を共にしてきたグループの結束力は固く、手際よく作っていました。にんじんが少し固くてもみんなで作ったカレーは絶品。みんな美味しく食べていました。片付けも厳しいチェックをパスするためにグループ丸となって綺麗に洗っていました。そして施設前で記念写真を撮り、施設にさよならを言い、最後のひと踏ん張り、仁川に向けて出発しました。帰りは楽しかった思い出を話しながら歩くと、あっという間に駅に到着しました。夏をまるかじったぞ！そんな子ども達の表情は逞しく、達成感に満ち溢れていました。



<キャンプ総括>

「夏をまるかじる」。これが今回のテーマでした。夏キャンプといえば！？の活動を凝縮しました。60人の子ども達が1つのプログラムに向かっていく意欲、集中、パワーには圧倒されるものがありました。猛暑の中、自分の最大限の力を注いで常に全力で活動していました。そして、初日には見られなかった子ども達の笑顔。徐々に芽生えていったグループ意識。そして、キャンプを楽しむために必要な努力。キャンプファイアーで虹を歌っている子ども達を見てその全てを感じることができました。合図をせずとも自然と手拍子が始まり、みんなの声は大きく1つにまとまり、リーダー含め75人の心は1つになっていました。このキャンプで夏キャンプの楽しさ、自然との触れ合いを伝えようとしたプログラムは、それ以上のものを子ども達は感じとり吸収し、一回り大きくなっていました。そんな子ども達の未知なる力をもっともっと引き出せていけるような、伸ばせていけるようなプログラムを作っていかなければならないと思いました。

(濱野 かおる)